

大雪山高山帯における
セイヨウオオマルハナバチ防除の考え方（素案）

平成 29 年 2 月版
北海道地方環境事務所

目 次

第1章 背景及び目的.....	1
1-1. 北海道におけるセイヨウオオマルハナバチの現状.....	1
1-2. 大雪山国立公園におけるセイヨウの現状.....	1
1-3. セイヨウが高山帯に定着した場合に予想される影響.....	1
1-4. 本考え方作成のねらい	2
第2章 セイヨウオオマルハナバチの生態.....	3
2-1. 生物学的特徴.....	3
第3章 大雪山におけるセイヨウオオマルハナバチの現状と侵入、定着経路	6
3-1. 大雪山国立公園の高山帯の自然環境.....	6
3-2. 大雪山国立公園の高山帯および周辺域におけるセイヨウの確認状況	6
第4章 大雪山におけるセイヨウオオマルハナバチの防除計画と実施	16
4-1. 基本的な考え方	16
4-2. モニタリング及び防除の手法.....	18
4-3. 周辺地域の各主体との連携と協力.....	25
4-4. 野外における薬剤防除の技術確立と実施に向けた合意形成	25
第5章 おわりに	28

1-4. 本考え方作成のねらい

今後、セイヨウが大雪山国立公園の高山帯に侵入定着することが十分考えられ、その場合、貴重な自然環境に深刻な影響が出るおそれがある。大雪山の高山帯には、風衝地植生、雪田帯植生、高茎草本群落、湿地植生等多様な植生が発達し、多くの希少種からなる高山植物のお花畑景観が見られる等、極めて貴重な自然環境を有しているため、特に外来種の影響を排除し、保全していく必要がある。

そのためには、大雪山国立公園の高山帯へのセイヨウの侵入と定着を防ぐために必要な考え方を提示し、関係者による対策を促す必要がある。

セイヨウの効果的な防除対策についてはいくつかの課題が残されているが、侵入定着を未然防止に資するため、現在の知見をもとに、「大雪山高山帯におけるセイヨウオオマルハナバチ防除の考え方」（以下、「考え方」という）としてまとめるものである。

